

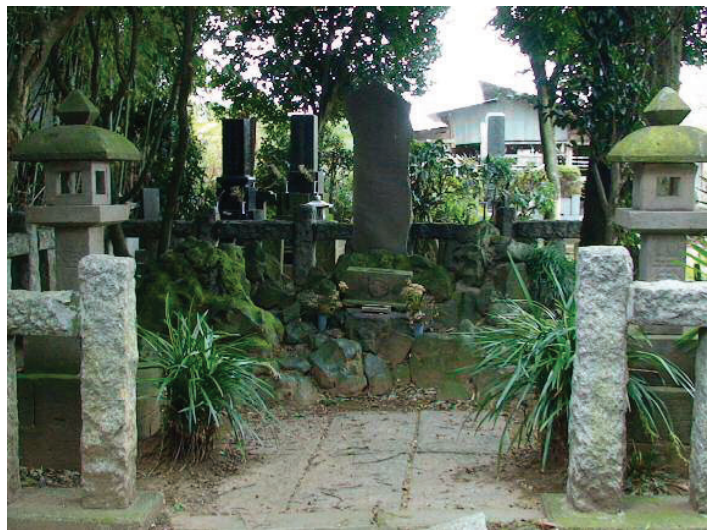
昭和十年代の塙保己一先生の顕彰活動の一例を紹介します。

昭和十三年、東京の小学生四百五十名が「心眼号」と名づけた列車で本庄駅に降り立ち、バスで保木野の塙保己一の墓地や生家を訪れ、金屋小学校、児玉小学校の児童らと交流し、その後、再びバスで金鑽神社へ、そこから徒歩で御岳山を山越えして神流川の河原へ下りて鬼石小学校児童と交歓会、引き返して本庄で製糸工場を見学して帰京したそうです。

### 塙先生遺跡顕彰に就て

児玉温故会 副会長 金鑽 俊雄

来る九日午前九時十分本庄駅着愛国子供列車で、東都の小学生四百五十名が大型バス十六台に分乗して、午前九時四〇分金屋村保木野へ到着し、まず塙先生の墓碑前に参集し、拝礼の上、向つて左側に我が温故会で建設の世話一切をなした花崗岩の端麗な丈四尺五寸の石灯籠が、児童代表によってその除幕式を行ひ、のち記念館の入口で



保木野字処女会の麦湯の接待を受け金屋小学校長田訓導の「塙先生に就て」と題する講話を聴き、終つて記念館に陳列された先生の全遺物三十七点を観覧して先生の御遺徳の程をしるのび、庭上に歓迎の金屋小学校、児玉小学校、児玉高女の代表生徒らに挨拶する。それより先生生家荻野武平氏方を訪れて、のち大型バスに分乗し、官幣中社金鑽神社を参拝し、御嶽山を越え八塩鉱泉の神流川河原に鬼石町小学校生徒との交歓会に臨み、引返して本庄町の製糸工場を見学して帰京することとなった。右臨時列車は

塙先生の学徳を慕ひ、その学者的人格を崇拜して児童に研学の精神を植え付ける為「心眼号」と名づける由である。

今鉄道省や厚生省では国民精神総動員、体位向上の建前から、神社仏閣の参拝、忠臣偉人の遺跡顕彰に努め、集団的青年徒歩旅行を奨励してゐる。先生の生家と遺物と記念館と墳墓を残らず有してゐる我が郷土人はこの児玉温故会を中心に結束して先生の遺徳を仰ぐと共に、この保木野字を帝都に近き大偉人の遺跡として、青少年の修養上の聖地霊地となす可く努むる事が必要であると思ふ。(後略)

(「温故会報」第四号 児玉温故会 昭和十三年十月発行)



## 塙保己一史跡めぐりを実施

9月12日（日）午前、市民大学講座との共催により塙保己一史跡めぐりを実施いたしました。参加者は38人、コースはセルディを出発し、塙保己一記念館へさらに塙保己一の墓の約6kmを歩いて見学しました。

当日は朝から温度が上がりが心配されましたが参加者全員が元気にゴールいたしました。なお説明者として荒井一夫さんが同行し、参加者は午後の遺徳顕彰祭に参加した方もおられました。



塙保己一史跡めぐり



綱川泰典氏

（大阪府）大正11（1922）年以来、視覚障害者が自ら読むことのできる新聞を発行。国内、世界でも唯一である。・貢献賞 高橋 昌巳氏（79歳 東京都）鍼灸医学系を中心に点字・録音図書を出版。また当日は日本初のプロの盲目フルート奏者 綱川泰典氏、ピアノ伴奏 増沢真実氏による記念コンサートも開催されます。

## 第4回塙保己一賞表彰式を開催

本年も12月18日（土）午後1時からセルディに於いて第4回塙保己一賞表彰式を開催します。この賞は障害がありながら不屈の努力を続け顕著な活動をしている方や障害者のために様々な貢献をしている方に贈られます。なお、受賞される方は次の方々です。

- ・大賞 長谷川 貞夫氏（75歳 東京都）  
コンピュータを用い点字で漢字を作る「六点漢字体系」の完成や「ヘレンケラーホン」を実用化させた。
- ・奨励賞 遠藤 隆行氏（32歳 埼玉県）  
平成22年バンクーバー冬季パラリンピックに出場しアイススレッジホッケーの種目で銀メダル。
- ・貢献賞 毎日新聞社 点字毎日部（編集長 岡田満里子氏）

## 本庄市塙保己一記念館にある資料紹介

### （7）温故堂塙先生伝

この史料は、塙記念館所蔵文書「塙検校略伝」の一部です。「塙先生肖像」の左側には「先生常に儉素にして美食を好まず、殊に甚だ酒を憎めり」と書かれていますが、自己を厳しく律し、贅沢を戒めていたものと思われます。

この肖像画は、森観齋の筆ですが、「人の肖像世に多しといへども、此図の如くよく似たるはいとまれなり」とあります。





## 顕彰会の会員を募集しています

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会は、塙保己一先生の遺徳を顕彰し、幅広い啓発活動を行っています。まだ継続手続きをされていない方は会費の納入をお早めをお願いいたします。

また、会員の皆様も、お知り合いの方をご紹介していただきますようお願いいたします。



### 年会費

個人会員 一口 千円、 賛助会員（団体） 一口 一万円

### 入会と会費納入の受付場所

本庄市生涯学習課（中央公民館）と本庄市児玉文化会館（セルディ）で受け付けています。

本庄市役所4階文化財保護課と児玉総合支所2階総務課では、平日にお預かりします。

※ 郵便振替でも申し込みできます。

### ご寄付のお願い

遺徳顕彰会は会員の皆様の会費により推進されておりますが、またご寄付も募っております。設立以後、徐々にご寄付も増えておりますが、今後もよろしくお願ひします。

### 会員数をお知らせします

	平成19年度末会員数	平成20年度末会員数	平成21年度末会員数
個人会員	923人	742人	667人
賛助会員（団体）	33団体	43団体	44団体

平成22年9月末の会員数は、個人会員715人、賛助会員44団体です。

年度当初の会員数よりはやや増加いたしました。今後も塙先生の業績を啓発して新規会員を増やしたいと思っておりますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。



### 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会のホームページ

<http://www.hanawahokiichi.org/>

### 編集後記

秋の日はつるべ落としといたします。暗くなるのが早く感じられる今日このごろですが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。さて前号でもご紹介いたしました昔の温故会報の記事を載せてみました。過去の活動が伺えるものとして今後も紹介して行きたいと思っております。

### 発行 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会

事務局 本庄市教育委員会 生涯学習課  
本庄市児玉文化会館（セルディ）内

所在地 367-0216  
埼玉県本庄市児玉町金屋728-2

電話 0495-72-8851

FAX 0495-72-8854

そうけんぎょう はなわ ほきいち せんせい いとくけんしょうかい

# 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会 会報誌

第9号

平成22年11月発行



総検校塙保己一先生遺徳顕彰会 顕彰祭記念講演 「奉行と検校出世比べ」

講談師 宝井 馬琴 先生

ごあいさつ

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会では、塙保己一先生の遺徳の顕彰を進めておりますがこれもひとえに会員の皆様のご協力により行われております。

さて、9月12日の遺徳顕彰祭も盛大に行われました。記念講演では講談師の宝井馬琴先生を招いて講談をいただき大勢の皆様がご満足いただけたかと思えます。

現在、遺徳顕彰会では、塙保己一先生の没後190年、200年に向けての事業計画の策定を進めております。この事業を具体化するため事業部会で検討しておりますので、来年の総会には皆様にご報告できることと思えます。

また12月18日には埼玉県と本庄市の共催による塙保己一賞の表彰式が開催されます。この賞は障害がありながら顕著な活動をしている方や障害のために貢献している方に贈る賞です。本年も4人の受賞が決まりましたので皆様のご参加をお待ちしております。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会  
会長 吉田 信 解